



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社理経 上場取引所 東  
 コード番号 8226 URL <https://www.rikei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猪坂 哲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 長谷川 章詞 TEL 03-3345-2153  
 半期報告書提出予定日 2025年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	9,804	1.9	419	3.4	368	△3.3	210	25.6
2025年3月期中間期	9,618	93.9	406	—	380	—	167	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 222百万円 (57.0%) 2025年3月期中間期 141百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	13.93	—
2025年3月期中間期	11.09	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	11,482	5,510	47.8
2025年3月期	11,084	5,385	48.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 5,484百万円 2025年3月期 5,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	4.7	800	△28.2	770	△24.5	460	△30.4	30.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	15,514,721株	2025年3月期	15,514,721株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	395,348株	2025年3月期	395,318株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	15,119,397株	2025年3月期中間期	15,119,403株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(追加情報) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策の動向やロシア・ウクライナ情勢の長期化による不安定な国際情勢、継続する原材料価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、サステナビリティ戦略に基づき、基幹事業の収益基盤強化、新規事業開拓でのNEXT事業創出、M&A、資本参加等の事業投資、待遇改善や社員教育の充実化での人財への投資を行っていくことで持続性のある企業成長を目指し、法令遵守、経営資源の有効活用と地球環境保全に積極的に取り組み社会的責任を果たしてまいります。

2025年6月に公表いたしました中期経営計画に基づき、宇宙ビジネス、AI開発環境構築等のNEXT事業創出に向けた取り組みを積極的に推進します。

この結果、当中間連結会計期間におきましては、連結売上高は98億4百万円（前年同期比1.9%増）となりました。損益面では、営業利益は4億1千9百万円（前年同期比3.4%増）、経常利益は3億6千8百万円（前年同期比3.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は2億1千万円（前年同期比25.6%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

システムソリューションにおきましては、前年同期に大学向けの大型案件があったため、売上高は14億2千万円（前年同期比9.2%減）となりましたが、利益率及び経費の改善により、営業損失は4千3百万円（前年同期は8千4百万円の営業損失）となりました。

ネットワークソリューションにおきましては、2025年度からのJアラート新型受信機移行にともない、関連製品の納入が順調なため、売上高は8億5千4百万円（前年同期比29.5%増）となりましたが、利益率の高い案件の減少により、営業損失は2千8百万円（前年同期は1千9百万円の営業損失）となりました。

電子部品及び機器におきましては、連結子会社である株式会社エアロパートナーズにおいて防衛省向け航空機部品案件の下期からの前倒し及び為替変動の影響による売上が増加、ならびにAIやクラウドサービスの普及などによりデータセンターの需要が旺盛で、光ファイバ用途の機能性接着剤案件が増加したことにより、売上高は75億2千9百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は4億9千1百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

セグメント間取引については、相殺消去しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産は114億8千2百万円（前連結会計年度末110億8千4百万円）、負債は59億7千1百万円（前連結会計年度末56億9千8百万円）となり、前連結会計年度末に比べて増加しました。主に流動資産及び固定負債で前連結会計年度末に比べて増加しました。流動資産では受取手形、売掛金及び契約資産の回収が進み減少しましたが、前渡金及び現金及び預金が増加したこと、流動負債では支払手形及び買掛金、短期借入金、未払法人税等が減少しましたが、固定負債で長期借入金の増加により資産及び負債が増加しております。

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は107億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千1百万円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が6億9千3百万円、商品及び製品が9千8百万円減少しましたが、現金及び預金が9億1千9百万円、前渡金が4億3千5百万円増加したことによります。

固定資産は7億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千3百万円減少しました。これは主に、繰延税金資産が4千2百万円減少したことによります。

この結果、総資産は114億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9千8百万円増加しました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の合計は51億9千4百万円、前連結会計年度末に比べ1億9千4百万円減少しました。これは主に、前受金が4億2千1百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が2億5千9百万円、短期借入金が1億8千3百万円、未払法人税等が1億8千5百万円減少したことによります。

固定負債は7億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6千7百万円増加しました。これは主に、長

期借入金が4億8千9百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は59億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千2百万円増加しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は55億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千5百万円増加しました。これは主に、配当金の支払9千6百万円がありましたものの、親会社株主に帰属する中間純利益が2億1千万円発生したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より9億1千9百万円増加し、39億9千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、6億7千6百万円の増加(前年同期は5億8千2百万円の増加)となりました。これは主に、前渡金の増加4億3千5百万円、仕入債務の減少2億5千9百万円、法人税等の支払2億9千3百万円の支出がありましたものの、税金等調整前中間純利益3億6千8百万円、売上債権の減少6億9千7百万円、棚卸資産の減少9千8百万円、前受金の増加4億2千1百万円の収入によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間期連結会計期間において、2千万円の減少(前年同期は4千8百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得2千万円の支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、2億6千3百万円の増加(前年同期は2千万円の減少)となりました。これは主に、子会社における短期借入金の純減額1億8千3百万円、長期借入金の返済5千万円、配当金の支払9千6百万円の支出がありましたものの、子会社における長期借入金6億円の収入によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想については、変更の必要性が生じた場合には別途開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,075,749	3,995,318
受取手形、売掛金及び契約資産	4,497,382	3,803,449
電子記録債権	48,018	44,576
商品及び製品	903,838	805,777
前渡金	1,582,751	2,018,165
その他	194,837	77,410
貸倒引当金	△10,133	△10,272
流動資産合計	10,292,445	10,734,424
固定資産		
有形固定資産	430,771	429,342
無形固定資産	22,140	22,260
投資その他の資産		
投資有価証券	31,630	31,630
繰延税金資産	137,322	94,990
その他	170,039	169,857
投資その他の資産合計	338,992	296,478
固定資産合計	791,903	748,081
資産合計	11,084,348	11,482,506
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,073,447	813,643
短期借入金	2,983,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	40,560	100,524
未払法人税等	317,248	131,963
前受金	486,025	907,875
その他	488,609	440,452
流動負債合計	5,388,891	5,194,458
固定負債		
長期借入金	47,900	537,674
退職給付に係る負債	220,912	204,989
役員退職慰労引当金	2,770	3,245
その他	38,292	31,379
固定負債合計	309,875	777,288
負債合計	5,698,766	5,971,747
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,426,916	3,426,916
資本剰余金	605,508	606,241
利益剰余金	1,450,930	1,570,760
自己株式	△112,338	△112,350
株主資本合計	5,371,016	5,491,567
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	5,935	11,678
土地再評価差額金	△11,613	△11,613
為替換算調整勘定	2,550	2,504
退職給付に係る調整累計額	△9,759	△9,377
その他の包括利益累計額合計	△12,887	△6,808
非支配株主持分	27,452	25,999
純資産合計	5,385,582	5,510,759
負債純資産合計	11,084,348	11,482,506

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	9,618,429	9,804,218
売上原価	8,057,498	8,164,747
売上総利益	1,560,930	1,639,470
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	618,280	655,329
退職給付費用	15,570	18,671
貸倒引当金繰入額	3,676	138
役員退職慰労引当金繰入額	475	475
その他	516,852	544,970
販売費及び一般管理費合計	1,154,855	1,219,586
営業利益	406,075	419,884
営業外収益		
受取利息	207	2,761
為替差益	3,079	885
受取賃貸料	1,309	1,153
その他	1,388	1,914
営業外収益合計	5,984	6,714
営業外費用		
支払利息	2,250	13,269
支払手数料	28,458	45,228
その他	688	3
営業外費用合計	31,398	58,500
経常利益	380,662	368,098
特別損失		
投資有価証券評価損	24,830	—
特別損失合計	24,830	—
税金等調整前中間純利益	355,831	368,098
法人税、住民税及び事業税	173,767	111,761
法人税等調整額	11,695	39,622
法人税等合計	185,463	151,384
中間純利益	170,367	216,714
非支配株主に帰属する中間純利益	2,751	6,167
親会社株主に帰属する中間純利益	167,615	210,546

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	170,367	216,714
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△27,175	5,742
為替換算調整勘定	△744	△46
退職給付に係る調整額	△524	382
その他の包括利益合計	△28,443	6,079
中間包括利益	141,923	222,793
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	139,171	216,625
非支配株主に係る中間包括利益	2,751	6,167



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	355,831	368,098
減価償却費	18,267	21,421
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,907	138
受取利息及び受取配当金	△207	△2,761
支払利息	2,250	13,269
投資有価証券評価損益 (△は益)	24,830	—
売上債権の増減額 (△は増加)	395,397	697,375
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72,973	98,061
前渡金の増減額 (△は増加)	705,534	△435,414
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,065,299	△259,804
前受金の増減額 (△は減少)	409,010	421,849
未収消費税等の増減額 (△は増加)	124,770	86,456
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△88,971	8,015
その他	△108,014	△35,987
小計	704,333	980,719
利息及び配当金の受取額	207	2,634
利息の支払額	△2,250	△13,269
法人税等の支払額	△119,611	△293,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	582,678	676,776
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,085	△16,577
無形固定資産の取得による支出	△10,980	△3,523
出資金の払込による支出	—	△10
差入保証金の差入による支出	△32,968	△295
差入保証金の回収による収入	679	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,354	△20,406
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△20,280	△50,262
長期借入れによる収入	—	600,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	80,000	△183,000
配当金の支払額	△75,198	△90,061
非支配株主への配当金の支払額	—	△6,888
その他	△4,861	△6,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,340	263,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	△701	△113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	513,281	919,569
現金及び現金同等物の期首残高	3,062,440	3,075,749
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,575,722	3,995,318

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	システムソリ ューション	ネットワー クソリユー ション	電子部品及び 機器			
売上高						
外部顧客への売上 高	1,564,166	659,561	7,394,700	9,618,429	—	9,618,429
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	16,947	1,780	5,516	24,243	△24,243	—
計	1,581,114	661,341	7,400,216	9,642,673	△24,243	9,618,429
セグメント利益又は 損失 (△)	△84,952	△19,433	510,461	406,075	—	406,075

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	システムソリ ューション	ネットワー クソリユー ション	電子部品及び 機器			
売上高						
外部顧客への売上 高	1,420,069	854,416	7,529,732	9,804,218	—	9,804,218
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	24	2,128	4,144	6,297	△6,297	—
計	1,420,094	856,545	7,533,876	9,810,515	△6,297	9,804,218
セグメント利益又は 損失 (△)	△43,221	△28,200	491,307	419,884	—	419,884

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (追加情報)

(子会社のコミットメントライン契約変更並びに営業外費用の計上)

2025年8月25日において、「子会社 株式会社エアロパートナーズの財務上の特約が付された金銭消費貸借契約変更に関するお知らせ並びに営業外損失のお知らせ」で開示しましたように、当社の連結子会社である株式会社エアロパートナーズは、2025年8月25日開催の取締役会において、財務上の特約が付された金銭消費貸借契約増加の決議を行いました。この契約増額に伴い諸費用87.2百万円を契約締結予定日の第3四半期連結会計期間に計上いたします。

## 1. 本契約締結の目的

今後の事業展開に必要な資金需要の増加に備え、機動的かつ安定的な資金調達手段を確保することにより、財務運営の強化を図ることを目的としております。

## 2. 本契約の概要

①金銭消費貸借契約の締結日	2025年10月8日
②契約形態	シンジケーション方式のコミットメントライン
③アレンジャー兼エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
④参加金融機関 (借入先)	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社きらぼし銀行、株式会社商工組合中央金庫、株式会社三井住友銀行、株式会社りそな銀行、株式会社群馬銀行、株式会社あおぞら銀行、株式会社横浜銀行、朝日信用金庫、株式会社千葉銀行、株式会社八十二銀行、株式会社伊予銀行
⑤組成金額 (債務の元本)	85.5億円
⑥実行日	2025年10月15日
⑦満期予定日 (※) (弁済予定日)	2026年10月14日
⑧担保の有無	無担保・無保証
⑨資金使途	既存借入金の借換資金を含む運転資金

※1 契約は、2028年10月13日満期まで更新可能。

※2 変更前の融資枠設定金額：60.5億円